



## 2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月9日

上場会社名 株式会社やまや 上場取引所 東  
コード番号 9994 URL <https://www.yamaya.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 山内 英靖  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 田原口 裕基 TEL 022-742-3114  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無：無  
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	39,151	0.6	1,286	△2.7	1,321	△3.1	817	2.4
2024年3月期第1四半期	38,910	6.8	1,322	224.0	1,362	185.6	797	93.6

(注) 包括利益2025年3月期第1四半期 1,031百万円 (21.5%) 2024年3月期第1四半期 849百万円 (294.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	75.37	—
2024年3月期第1四半期	73.59	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	62,713	34,219	52.2
2024年3月期	62,418	33,539	51.6

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 32,726百万円 2024年3月期 32,207百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	26.00	—	28.00	54.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	27.00	—	27.00	54.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	81,800	2.1	2,600	1.2	2,640	1.0	1,600	7.5	147.58
通期	166,000	3.5	6,400	1.3	6,500	1.5	3,700	2.3	341.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期1Q	10,847,870株	2024年3月期	10,847,870株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	6,352株	2024年3月期	6,352株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期1Q	10,841,518株	2024年3月期1Q	10,841,554株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2024年4月1日～2024年6月30日)におけるわが国経済は、経済活動の正常化が進む中、雇用・所得環境の改善による個人消費の回復やインバウンド需要の増加などを背景に緩やかな回復基調で推移しました。一方で、国際的な情勢不安の長期化、原材料価格の高騰や円安の影響による物価上昇が続いており、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当社グループは、豊かな生活をお客様にお届けすることを基本姿勢として、刻々と変化する社会環境と多様化するお客様ニーズへ対応した商品・サービスを提供し、顧客満足度の向上に取り組んでまいりました。

当第1四半期連結累計期間(2024年4月1日から2024年6月30日まで)における当社グループ連結業績は、売上高が391億51百万円(前年同期比0.6%増)、営業利益が12億86百万円(同2.7%減)、経常利益が13億21百万円(同3.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益が8億17百万円(同2.4%増)となりました。

経済活動の正常化に伴って人流が回復し、円安の進行によってインバウンド需要が増加するなど、売上高は堅調に推移しました。酒販事業、外食事業ともに新規出店及びリフレッシュ改装を積極的に進め、これに伴う投資の増加、人件費や諸費用の高騰等により販管費は増加しましたが、増収増益となりました。

当第1四半期連結会計期間末において、酒販事業355店(前年同期比3店増)、外食事業627店(同30店減)、グループ合計店舗数982店(同27店減)を運営しています。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

## [酒販事業]

酒販事業における売上高は320億54百万円(前年同期比0.4%減)、営業利益は8億84百万円(同10.3%減)となりました。

当第1四半期連結累計期間は、インバウンド需要の増加に伴い、SNSの活用、外国人旅行客のニーズの把握、店舗外装にTax Free Shopの表示を大きくするなど対応し、幅広い国々の旅行客にご来店いただきました。母の日や父の日などのパーソナルギフトでは、選ぶ楽しさを演出し、お客様の様々なニーズに対応するべく、オリジナルギフトのご提案や接客サービスの強化に努めました。お花見やお祭り、ゴールデンウィークなどの行楽需要が回復し、スマートドリンクと言われる低アルコール売場を拡大しました。

新規出店として、丸子店(福島県)、立川若葉町店(東京都)、下石田店(山梨県)、長森店(岐阜県)を開店しました。山梨県、岐阜県には初出店となります。燕三条店(新潟県)は、商業施設の再開発に伴い移転し、燕店を開店しました。また、秋田業務店(秋田県)を閉店しました。これにより、2024年6月末における酒販事業の総店舗数は、355店舗(前年同期比3店増)となりました。

## [外食事業]

外食事業における売上高は71億75百万円(前年同期比5.8%増)、営業利益は3億99百万円(同19.6%増)となりました。

外食業界におきましては、アフターコロナにおいて客数が順調に回復する中でも、食材価格の高騰や労働力不足による人件費上昇など、厳しい状況は依然として続いております。

このような環境の中、メディア戦略の拡充、WEB・SNS販促を強化し、認知拡大及び集客に努めたことにより、インバウンド及び国内旅行団体の集客は堅調に推移しました。また、季節を感じながら大切な仲間と語らっていただくための宴会メニューをご用意し、宴会需要も順調に回復してきました。店舗開発としましては、新業態の開発・展開にも注力し、直営店2店舗を新規出店するとともに、店舗のブラッシュアップ(改装、業態転換、修繕等)を進めてまいりました。

2024年6月末の外食事業直営店は、332店(前年同期比17店減)、飲食F C店は、295店(同13店減)となり、飲食店の総店舗数は、627店(同30店減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

総資産は、前連結会計年度末と比べて2億95百万円(0.5%)増加し、627億13百万円となりました。流動資産は、商品及び製品が9億71百万円増加した一方で、現金及び預金が6億69百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末と比べて3億17百万円(0.8%)増加し、402億78百万円となりました。

固定資産は、前連結会計年度末と比べて21百万円( $\Delta$ 0.1%)減少し、224億34百万円となりました。

(負債)

総負債は、前連結会計年度末と比べて3億85百万円( $\Delta$ 1.3%)減少し、284億94百万円となりました。

流動負債は、未払法人税等が8億43百万円減少した一方で、買掛金が3億48百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末と比べて3億7百万円( $\Delta$ 1.4%)減少し、219億54百万円となりました。

固定負債は、前連結会計年度末と比べて77百万円( $\Delta$ 1.2%)減少し、65億40百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末と比べて6億80百万円(2.0%)増加し、342億19百万円となりました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の51.6%から52.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点では2024年5月15日に公表いたしました予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,539	12,870
売掛金	5,651	5,625
商品及び製品	18,989	19,961
仕掛品	70	68
原材料及び貯蔵品	31	33
前払費用	855	805
その他	1,034	1,103
貸倒引当金	△211	△189
流動資産合計	39,961	40,278
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	28,970	29,203
減価償却累計額	△24,196	△24,211
建物及び構築物 (純額)	4,773	4,992
機械装置及び運搬具	1,877	1,934
減価償却累計額	△1,787	△1,797
機械装置及び運搬具 (純額)	89	137
工具、器具及び備品	9,620	9,732
減価償却累計額	△8,897	△8,929
工具、器具及び備品 (純額)	722	803
リース資産	1,731	1,735
減価償却累計額	△1,460	△1,465
リース資産 (純額)	270	269
土地	4,618	4,618
建設仮勘定	133	16
有形固定資産合計	10,608	10,836
無形固定資産		
ソフトウェア	48	41
のれん	1,464	1,427
その他	24	24
無形固定資産合計	1,538	1,493
投資その他の資産		
投資有価証券	930	973
関係会社株式	992	975
破産更生債権等	320	318
長期前払費用	112	117
退職給付に係る資産	70	71
差入保証金	6,974	6,925
繰延税金資産	1,137	958
その他	84	74
貸倒引当金	△313	△310
投資その他の資産合計	10,309	10,104
固定資産合計	22,456	22,434
資産合計	62,418	62,713

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	10,617	10,965
短期借入金	5,000	5,000
1年内返済予定の長期借入金	278	316
リース債務	19	27
未払金	2,178	2,041
未払費用	933	1,027
未払法人税等	983	140
未払消費税等	585	614
預り金	320	453
賞与引当金	869	408
その他	475	958
流動負債合計	22,261	21,954
固定負債		
長期借入金	2,514	2,434
退職給付に係る負債	323	325
リース債務	274	262
役員退職慰労引当金	680	685
資産除去債務	1,533	1,541
繰延税金負債	0	0
その他	1,291	1,290
固定負債合計	6,617	6,540
負債合計	28,879	28,494
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,247	3,247
資本剰余金	5,815	5,815
利益剰余金	22,622	23,136
自己株式	△9	△9
株主資本合計	31,676	32,189
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	532	537
退職給付に係る調整累計額	△0	△0
その他の包括利益累計額合計	531	536
非支配株主持分	1,331	1,492
純資産合計	33,539	34,219
負債純資産合計	62,418	62,713

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	38,910	39,151
売上原価	27,814	27,723
売上総利益	11,095	11,428
販売費及び一般管理費	9,773	10,142
営業利益	1,322	1,286
営業外収益		
受取利息	1	1
受取手数料	17	19
受取配当金	10	12
持分法による投資利益	2	1
その他	45	27
営業外収益合計	76	63
営業外費用		
支払利息	20	18
店舗改装費用	8	3
店舗閉鎖損失	0	0
その他	6	6
営業外費用合計	35	28
経常利益	1,362	1,321
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	2	0
減損損失	84	11
その他	18	0
特別損失合計	105	12
税金等調整前四半期純利益	1,257	1,308
法人税、住民税及び事業税	170	122
法人税等調整額	171	166
法人税等合計	342	289
四半期純利益	915	1,019
非支配株主に帰属する四半期純利益	117	202
親会社株主に帰属する四半期純利益	797	817



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	915	1,019
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△66	11
退職給付に係る調整額	0	0
その他の包括利益合計	△65	12
四半期包括利益	849	1,031
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	795	822
非支配株主に係る四半期包括利益	54	209

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。これによる前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	酒販事業	外食事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	32,126	6,783	38,910	—	38,910
セグメント間の内部 売上高又は振替高	69	—	69	△69	—
計	32,196	6,783	38,979	△69	38,910
セグメント利益	985	333	1,319	2	1,322

(注) 1. 調整額はセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

セグメントごとの固定資産減損損失の計上額は、「酒販事業」において11百万円、「外食事業」において73百万円であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	酒販事業	外食事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	31,976	7,175	39,151	—	39,151
セグメント間の内部 売上高又は振替高	77	—	77	△77	—
計	32,054	7,175	39,229	△77	39,151
セグメント利益	884	399	1,283	2	1,286

(注) 1. 調整額はセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

セグメントごとの固定資産減損損失の計上額は、「酒販事業」において0百万円、「外食事業」において11百万円であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	257百万円	255百万円
のれんの償却額	45	37